

箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

# 箕面公園 昆虫館 だより

Minokoen Konchukan

vol.1

エゴヒゲナガゾウムシ  
(甲虫目ヒゲナガゾウムシ科)

*Exechesops leucopis*

体長3.5~5.5mm。8月ごろエゴノキの実で見られます。オスは左右の眼が突出し、とても面白い顔をしています。実はこの変な顔にもちゃんとした理由があって、メスをめぐるオス同士の闘争において眼の離れたオスの方が強いことが明らかになっています。兵庫県三田市、2016年8月撮影。

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>  
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18  
TEL.072-721-7967

—  
vol.1 5月15日発行 TAKE FREE

2017  
05

もっと生きた昆虫にふれあえる  
新しい箕面公園昆虫館へ

特集

message

箕面公園昆虫館が変わる! ~新館長からのメッセージ

monthly

昆虫にくわしくなるう 「今月の虫のお話」

report

どこが変わったの? 箕面公園昆虫館最新レポート



リュウキュウアサギマダラ

アサギマダラ

オオゴマダラ

新館長就任記念インタビュー

綺麗な虫、変な虫など、ここで見たことを誰かに話したくなる、そんな昆虫館をめざしたい

4月にリニューアルオープンして、ガラリと生まれ変わった箕面公園昆虫館。新たに就任した中峰空館長から、昆虫の魅力や昆虫館に込めたこだわりや想い、楽しみ方を紹介します。



箕面公園昆虫館  
なかみね ひろし  
新館長 中峰 空 博士 (農学)

1971年奈良県生まれ。信州大学理学部卒業後、神戸大学大学院へ。2003年に三田市有馬富士自然学習センターに学習指導員として勤務。2017年4月より箕面公園昆虫館館長に就任。



新しくリニューアルした放蝶園は、植物園さながらの様々な木々や花々を植えています。ベンチもあるのでゆっくり座って蝶の動きを眺めることができます。

私は、奈良県の東吉野村で生まれ育ちました。自然豊かな山村で、近所には同年代が数人しかおらず、幼少期の私には自然の生き物が友達でした。家のキャベツ畑にいたモンシロチョウの幼虫を箱いっぱい飼っていましたし、家の裏にあったエノキにはタマムシがたくさん飛んでいました。小学生の頃には、自転車で乗る練習をしている最中にハチが飛んできて、必死で逃げているうちにいつのまにか自転車を漕いでいたことがありました。

昆虫が当然のようにそばにいて、何の抵抗もなく触れ合ってきた子どもの私にとって、昆虫のゴツゴツした体やかっこいい姿、変なおいなどはとにかく面白いものでした。そして大人になった今でも、昆虫の面白さは生き物の中でトップクラスだと思っています。

地球上には、知られているだけでも約100万種の昆虫がいると言われていています。それぞれが固有の生態を持ち、いろんな姿形をしていて、一つひとつが違います。この昆虫の本当の面白さや魅力を、ぜひ皆さんにも伝えたいと思っています。そんな奥深い昆虫の世界をじっくり見ることができなのが、箕面公園昆虫館です。

昆虫は生き物の中で  
トップクラスの面白さ

新しく生まれ変わった昆虫館には、何度訪れても楽しめる工夫や仕掛けをたくさん忍ばせています。きれいな虫、かっこいい虫、ちよつと変な虫など、いろいろな虫の展示だけでなく、生きた昆虫に触れる体験もできます。触り心地や固さを指で確かめてみてください。初めての感触にお子さんは興奮し、そこから生まれる親子やスタッフとの会話にも楽しい発見があるでしょう。昆虫が苦手な初心者さんは、映像コーナーのアニメーションでかわいい虫の世界

誰かに伝えたくなくなる  
体験型のミュージアムへ

界をのぞいてみてください。また、図書館にも置いていないような古く高価な専門書も保管しているので、将来、研究者を目指す中学生や高校生にとっても「ここに来れば昆虫のことが分かる」という貴重な居場所になるはずです。さらに一歩、館外に出れば、箕面の豊かな森が広がっています。箕面ならではの自然の中で、見たこともないような珍しい虫を探することもできます。

今月の虫

ムシクソハムシ

(甲虫目ハムシ科)  
*Chlamisus spilotus*



5月～9月ごろ、クヌギやコナラ、クリ、アラカシなどの葉の上で見られる体長3mm前後の小さいハムシの仲間です。黒くてごつごつした体型はイモムシの糞を真似ていると言われていました。危険を感じると脚(あし)や触角が体の溝にピタッとハマり、本物のイモムシの糞そっくりになります。幼虫も少し変わっていて、自分の糞で作ったドーム状の殻を背負って暮らしています。幼虫は危険を感じると糞の殻の中に入って身を守ります。



もっと楽しく  
リニューアル

もっと昆虫とふれあえる、もっと昆虫に詳しくなれる

# 箕面公園昆虫館に遊びにおいでよ! >>



## エントランス&ミュージアムショップ ①

皆様をお迎えるエントランスも一新。めずらしい昆虫の映像をモニターで見ることができるほか、時には生きた昆虫に触れられるスペースとしても開放します。また館長がセレクトした昆虫グッズが購入できるミュージアムショップもインフォメーション奥のスペースに誕生しました。昆虫好きの方は要チェック!



## 展示室 ③



新しくなった展示室では展示方法にも工夫を凝らし、昆虫の生態がよくわかるようになっています。また、カマキリ目(もく)、カゲロウ目など、目ごとに展示を行っているので、学術的に昆虫の世界がわかるようになっています。



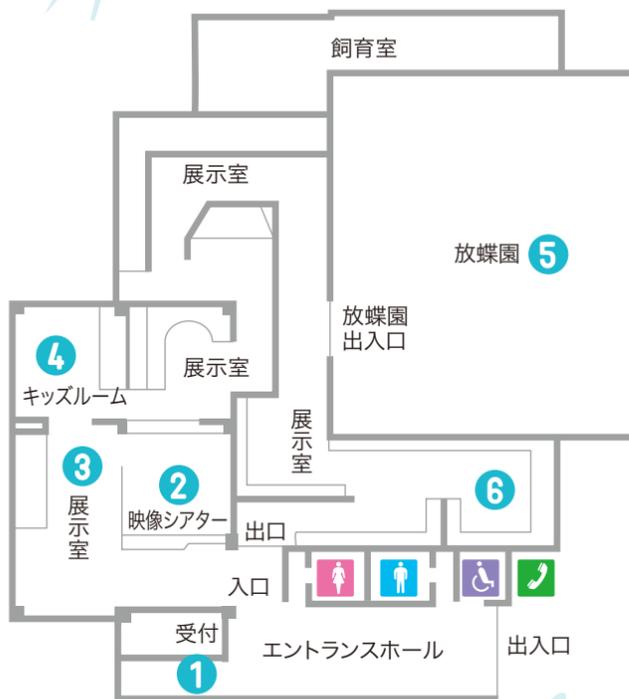
## 映像シアター ②

新設の「映像シアター」では、昆虫の生態の面白さ、その多様性の素晴らしさをオリジナルのアニメーション作品によるショートストーリーで、楽しくわかりやすく伝えます。アートディレクションを担当する新鋭のイラストレーター・hori氏の優しいタッチが、知られざる昆虫たちの生態を繊細に描き出します。



映像シアター作品アートディレクション  
イラストレーター hori  
プロフィール

- 2009年 香川ビエンナーレ イラスト部門奨励賞
- 2012年 京都嵯峨芸術大学卒業制作展 卒業生特別賞
- 2012年 読書週間イラストコンペ入選
- 2013年 あかマルシェ あしたの箱賞



放蝶園では幼虫のお世話をしている様子も見学できます。

## 放蝶園 ⑤

一年を通して、常時200頭以上の蝶が飛び交う放蝶園は、箕面の自然を再現した自然環境を創出しています。今回のリニューアルでは、来園者の皆様に、より身近に蝶の生態を楽しんでいただけるような様々な工夫を凝らし、パワーアップしています。



## キッズルームの新設 ④

幼児や小学校低学年の子どもたちを対象に、キッズルームを新設しました。ここでは主に土、日、祝日に、読み聞かせや、安心の環境下で昆虫に触れることができる「昆虫デビュー」イベント等、子どもたち、そして親子で楽しめる多彩なイベントを企画していきます。

企画展も  
開催

## きらめく昆虫展 ⑥

箕面公園昆虫館リニューアル記念第1弾として、企画展示では「きらめく昆虫展」を開催しています。世界じゅうから集められた美しく輝く昆虫たちの魅力を存分にお楽しみください。

- 期間 開催中～8月頃(予定)
- 場所 箕面公園昆虫館・企画展示コーナー



箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります

# 自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

緑の中を深呼吸して…  
四季折々の素敵な出会い



公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面滝)に至ります。途中には、瀧安寺や天狗鼻、唐人尻岩など、見どころがいっぱいです。

戻岩橋にさしかかる手前で、滝道をふさぐように二つの巨大な岩がそそり立っています。昔、中国の唐使がこの巨岩に驚き恐れて立ち帰ったという伝説があり、そのため、唐人尻岩といわれるようになりました。

## 唐人尻岩



## 野口英世像

世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。

## 瀧安寺

658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



## 箕面公園昆虫館

### ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両・バイクの通行はできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

### 季節の Topics

—春から初夏にかけてみられる花—



#### ハクサンハタザオ

【4月～6月】

風にそよそよとゆれる姿が旗竿(ハタザオ)のよう。



#### ユキノシタ

【5月～6月】

名の由来は、寒い雪の下になっても枯れないことから川沿いの石垣に集団ではえています。



#### ドクダミ

【6月～7月】

葉には独特のにおいがあります。花は道わきでハッと目をひく白さ。



#### テイカカズラ

【5月～6月】

滝道では瀧安寺の石垣にはえています。白色の花は甘く香り、咲きすすむとクリーム色に変化。



#### ウツギ

【5月～6月】

ウツギの花は別名「ウノハナ」といいます。山野に夏を呼ぶとして「夏は来ぬ」にうたわれています。

## 望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に拡がり爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



## 森秀次像

森秀次は、箕面公園の生みの親と言われていいます。彼らの奔走によって箕面公園は明治31年(1898)農商務大臣の許可が下り、大阪府最初の自然公園として始まりました。



## 西江寺

658年に役行者によって仏教の修行地として開かれ、大聖歓喜天霊場の根本道場として知られています。毎年秋には虫供養や天狗まつりが行われ、多くの人で賑わいます。



## 箕面公園昆虫館の利用案内

- URL** <http://www.mino-konchu.jp>
- 所在地** 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967
- 開館時間** 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)
- 入館料** 大人 270円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 190円 ※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料
- 交通機関** 阪急宝塚線石橋駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ

●箕面市立駐車場をご利用ください。(箕面公園には駐車場がありません。)



発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体